

「とくしま未来創造プラン ～徳島からの新たな挑戦～」 の策定方針について

1 策定の趣旨

多くの具体的成果をあげることができた「とくしま未来創造プラン」も、平成22年度末をもって計画期間を終了。

しかしながら、本県財政は依然として厳しい状況を脱するには至らず、また、多種多様な政策課題に直面し、スピード感をもった課題解決が求められる中、県民はもとより国民の「夢や希望」を実現するためには、県庁が、既成概念からの「超越に挑戦」し、我が国をリードする「政策発信拠点」となることが求められている。

このような認識のもと、「新しい発想」による「新しい次元の行財政運営」の展開に向け、「とくしま未来創造プラン ～徳島からの新たな挑戦～」を策定する。

2 性格と役割

- ・中長期的な展望のもとに、行財政改革の基本指針として、本県の進むべき方向性や基本理念を示す。
- ・個別具体の「推進項目」、「推進目標」及び「改革により目指す姿」を明らかにした「改革工程表」を作成する。
- ・改革にあたっては、「新しい発想」に積極的に挑戦することとし、県民の皆様に、改革の先にある「夢ある未来」をお示しすることを目的とする。

3 計画期間

- ・平成23年度から平成26年度までの「4カ年計画」とする。
- ・策定以降は、「社会経済」や「行財政運営」の状況変化、「県民ニーズ」に的確かつ柔軟に対応するため、毎年度進行管理・見直しを行う。

4 構成

行財政改革に関する「総論部分」と「改革工程表部分」で構成する。

(1) 総論

- ・「時代の大きな潮流」や「本県の行財政の状況」を踏まえ、今後目指すべき行財政改革の「取り組みの方向性」、「基本理念」、「基本目標」等を提示する。

(2) 改革工程表

- ・「基本理念」等を踏まえた「改革項目」を設定する。
- ・「改革工程表」には、「改革項目」ごとに「実施内容」「推進状況」「数値目標」「改革により目指す姿」等を整理する。
- ・「改革工程表」は、毎年度進行管理を行い、必要に応じ追加、修正を行う。

5 策定手法

(1) 新プラン推進委員会

外部有識者で構成する推進委員会において、その内容等について検討する。

(2) 県民意見の反映

県議会においてご論議を頂くのはもちろん、「パブリックコメント」を実施し、県民目線に立った策定に努める。

(3) 庁内策定体制

「行政経営企画本部」「同幹事会」等を通じ、各部局との連携を図り、策定する。